

どうぞご自由にお持ちください

TSUCHIDA HOSPITAL NEWS 輪

みんなの輪と和を



撮影者：佐藤富枝様(職員家族)

第31号 平成27年8月15日発行／発行元 医療法人社団 土田病院／編集 土田病院 広報委員会

整形外科外来診療体制 変更のお知らせ

9月より整形外科外来が週2回から週3回に増加します。ますます充実します。

- ・火曜日：午後2時～5時
- ・木曜日：午後2時～5時
- ・土曜日：午前9時～12時

※各曜日担当医等の詳細については、代表TEL011-531-7013までお問い合わせください。

今月の一枚

海が好きです
作業療法士 片平



地域医療連携室

相談受付時間：午前9時～午後5時まで(月～金)

専任の医療ソーシャルワーカー(社会福祉士)がおり、入院前および入院中における様々な調整や心配事などのご相談に応じております。お気軽にご入室ください。

地域連携

他の医療機関ならびに区役所、各関係施設などとの連携窓口となり、入院のご相談から様々な情報連絡、各種手続きなどをおこないます。

医療相談

経済的な問題から各種制度説明、介護保険のサービス紹介や福祉施設紹介など、お悩みになっている問題に対して、幅広くご相談をお受けいたします。また、お電話でもご相談でも構いません。

外来診療時間		[平日] 午前9時～12時・午後1時～6時 [土曜] 午前9時～12時30分(整形外科は午前9時～12時です)					
		月	火	水	木	金	土
外来診療	午前	院長	院長	院長	院長	院長	交代制
		北川	中村	山本	中村	北川	整形外科 専門外来
		山本	佐々木	豊田	佐々木	豊田	消化器内科 専門外来 (隔週)
				消化器内科 専門外来		循環器内科 専門外来	
	午後	中村	北川	北川	山本	中村	
		佐々木	豊田	佐々木	豊田	山本	
			整形外科 専門外来		整形外科 専門外来		
			循環器内科 専門外来				

※1 火曜日の整形外科は医師の都合により木曜日に変更になる場合がございます。専門外来を受診される患者様は事前に電話が窓口でご確認ください。

※2 診療時間午後2時～5時

日曜・祝日は休診いたします。

当院理念

地域の安心を第一に考えた
病院づくりを目指しています。

1. 地域のみならず信頼され、地域社会に貢献できる医療機関を目指します。
2. 救急医療から慢性期医療に至るまで、質の良い専門医療を実践します。
3. 患者さんの立場に立った、優しい、快適な環境を提供します。

Voice

最善のリハビリ治療ができるよう努力します。

最近では、リハビリテーションという言葉は広く知られるようになってきております。私がリハビリの仕事をしたころは理学療法士という散髪屋(理容師)さんかと間違える人もいたほどでした。リハビリの仕事をさせていただく中で常に患者さんの立場に立ってリハビリ治療を提供していくうえで何が重要なことかと考えてみると、リハビリ治療技術の向上はもちろんの事、いかに患者さんにリハビリを積極的に参加できるように促すこともとても重要なことと考えております。人はそれぞれ生活環境や生き立ちなどその人にしかない人生を送っていますが、突然の病気やけがで入院された患者さんにとっては、とても不安な状況だと考えら

れます。そんな中でリハビリに携わっていく患者さんの立場にたってみると不安を取り除くような対応が必要になってくるのではないかと考えております。そのため、わかりやすい話し方や患者さんの話しに耳を傾ける様心がけております。当院はケアミックスの病院であり、リハビリの対象患者さんは、年齢層も高く、整形疾患や脳血管疾患など急性期から慢性期まで様々な方が対象となっております。私が当院へ入社して10年余り、当初はリハビリスタッフも3名でした。現在、スタッフも理学療法士6名、作業療法士2名、言語聴覚士1名、マッサージ師1名、柔道整復師1名の11名と充実しております。

1年程前に増改築工事が終了しリハビリ室も1階から2階へと移動いたしました。新しいリハビリ室は、窓ガラスで覆われて明るく快適な環境となっております。また、最善のリハビリ治療ができるよう毎週病棟にてリハビリカンファレンスを実施し、医療チームとして患者さんの情報を共有しております。患者さんの立場に立ってリハビリが提供できるよう今後も努力してまいります。よろしく願いいたします。



リハビリテーション科 科長
理学療法士
羽田 英之



医療法人社団
土田病院
TSUCHIDA HOSPITAL
札幌市1次・2次救急指定病院
TEL:011-531-7013
〒064-0921 札幌市中央区南21条西9丁目2-11
E-mail / info@tsuchida.or.jp
URL / http://www.tsuchida.or.jp

診療科目

外科・内科・消化器外科・消化器内科・呼吸器内科・救急科・整形外科・肛門外科・内分泌外科・循環器内科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科

病床数

一般病棟 / 42床、医療療養病棟 / 92床



■市電 / 「東屯田通」下車 徒歩1分
■定鉄バス / 「南21条西11丁目」下車 徒歩5分
■車 / 「JR札幌駅」から約30分

胃ろうについてお困りごとは ございませんか？

胃ろうってどんな種類があるの？
どれを選べばいいの？

胃ろうのケアって
どうするの？

胃ろうってなに？

胃ろうの
ケアの仕方で困ってる…

これから胃ろうの方を受け入れようと
思っているけど…大丈夫かな

胃ろうとは口から食事が摂れない方や、
食べてもむせこんで肺炎などを起こしやすい方のために、
直接、胃に栄養を入れるためにおなかに小さな「口」をつくる手術のことです。
当院には「専門胃ろう造設者」と「専門胃ろう管理者」「認定胃ろう教育者」という

『胃ろうのスペシャリスト』がおります。

ご要望があれば施設や医療機関に訪問しての研修会などの開催も行っておりますので
胃ろうに関する悩み事・お困りごとがございましたらお気軽にご相談ください。
また、当院では昨年9月から「胃ろう造設連携パス」による胃ろう造設入院や
外来での胃ろう交換のご相談をお受けしております。
胃ろう造設・交換についてもお気軽にお問合せ・ご相談ください。

胃ろう造設連携パス
実績件数 **23件**
※H26年9月～H27年6月

胃ろう造設
実績件数 **54件**
※H26年度(PEG:49件 PTEG:5件)

お問い合わせ先

医療法人社団 土田病院
看護師 仲田恵子(専門胃ろう管理者/認定胃ろう教育者)または地域医療連携室まで
TEL011-531-7013

薬剤科



患者さんに効果的な薬物療法を。

薬剤科は薬にかかわる全ての業務にかかわっており、現在、薬剤師4名、調剤助手1名が日々業務に励んでいます。チーム医療の一員として、薬剤科では医療スタッフとの連携を密にとり、医薬品の安全管理・適正使用を目指し、患者さんの薬物療法が効果的に行われるよう努めています。

調剤業務

オーダーリングシステムを導入し、お薬の調剤・払い出しを行っています。患者さんの服薬状況に合わせて、錠剤の一包化や粉碎等のオーダーメイドの調剤を行い、服薬コンプライアンスの向上に努めています。また、患者さんからのお薬に関する相談もお受けしています。当院では外来患者さんに対しては、院外処方箋を発行しており、主に入院患者さんを対象に調剤業務を行っています。

注射薬調剤

入院患者さんの注射薬は薬剤科で患者さんごとに1日分のセットを行っています。

病棟業務

各病棟に専任の病棟薬剤師を配置して、医師・看護師と連携して有効かつ安全な薬物治療が行われるように努めています。

また、ベッドサイドで患者さん一人一人の薬剤に関する疑問や不安等の情報収集や治療に使用される薬の効果・効能、副作用等について説明しています。

<持参薬>

患者さんが持参された薬剤は全てチェックし、処方内容の重複や相互作用の有無、今後の治療への影響はないか等の確認も行っています。

簡易懸濁法

錠剤やカプセル剤を粉末状にせず、そのまま温湯(約55℃)で溶かして、お薬を経管チューブから通して投与する方法です。数々の大きなメリットがある方法で、当院では2004年から導入しています。

医薬品情報管理業務

適正かつ安全に薬物療法が行われる為に必要な医薬品に関する情報を収集・評価し、膨大な情報を薬学的知見に基づいて焦点を絞り、医師、看護師、医療スタッフに提供しています。また、薬剤に関する問い合わせにも対応しています。

委員会

医師・看護師等の他職種と連携し、より良い医療を提供できるように活動しています。

感染対策委員会、薬事・輸血委員会、褥瘡委員会、安全委員会等の一員として、それぞれの職種の専門性を活かせるように努めています。

